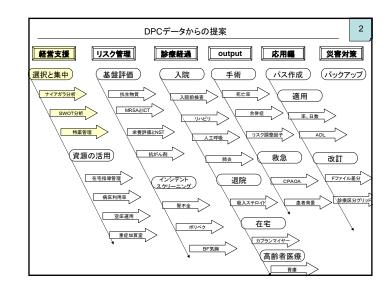
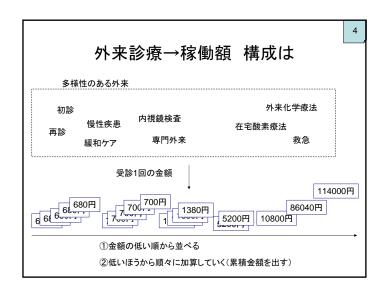
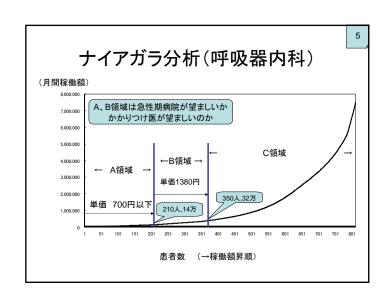
選択と集中に必要な診療領域 のセグメンテーション -DPCデータからの提案

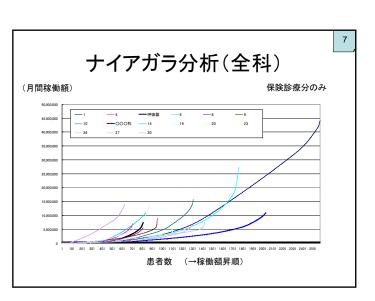
> 山形市立病院済生館 呼吸器内科 岩渕 勝好

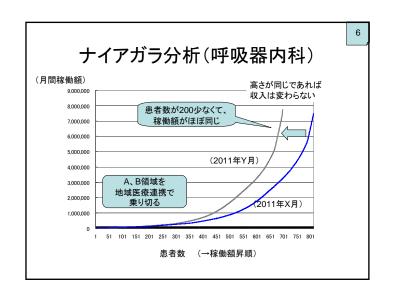


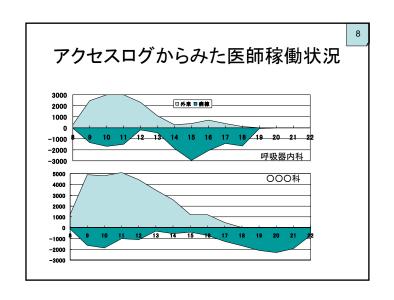


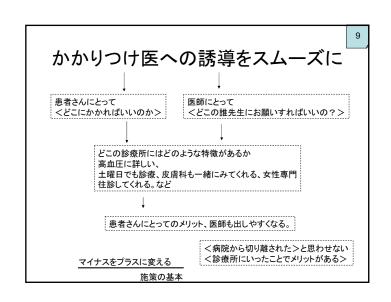


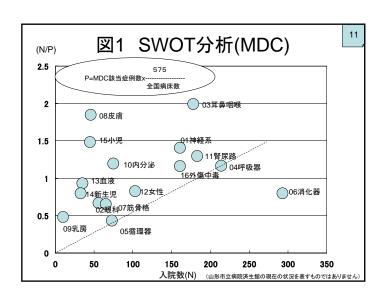


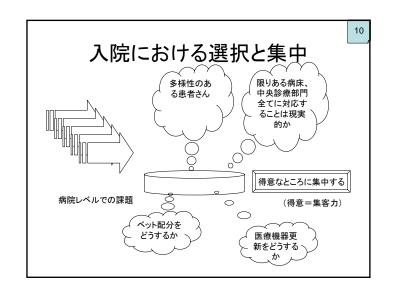


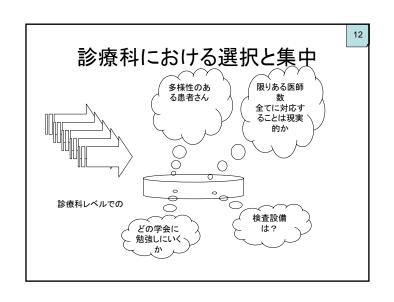


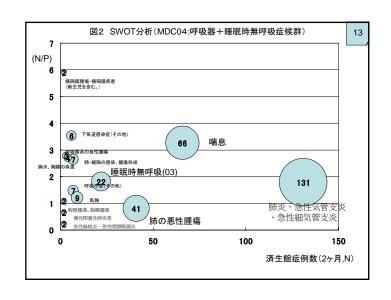


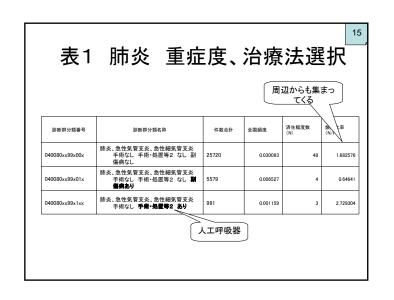


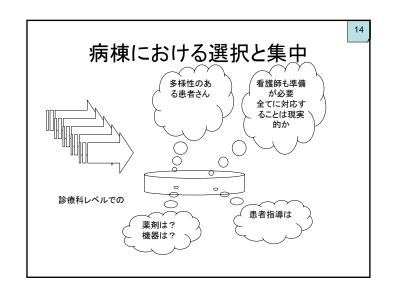


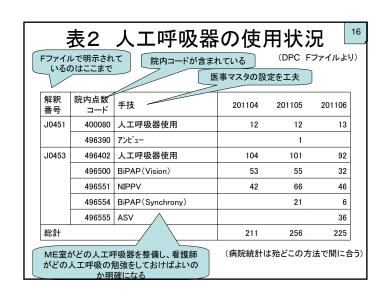


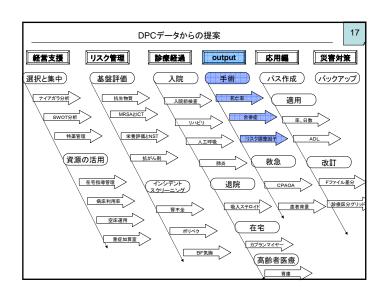


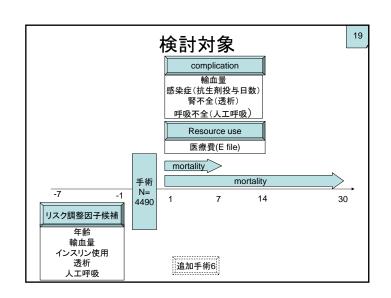




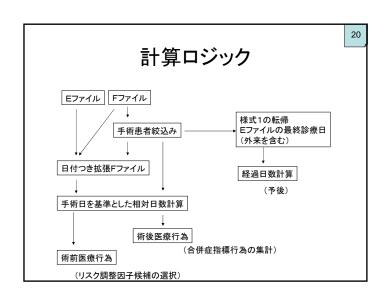


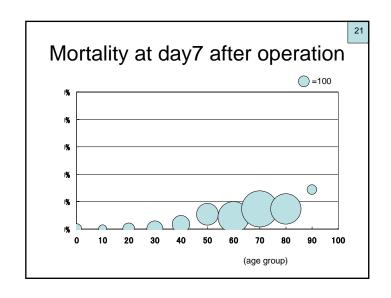


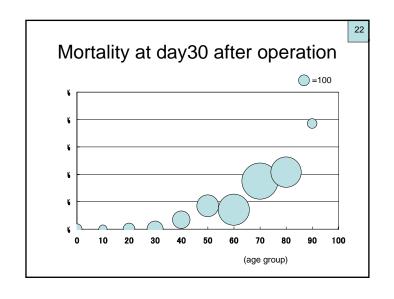


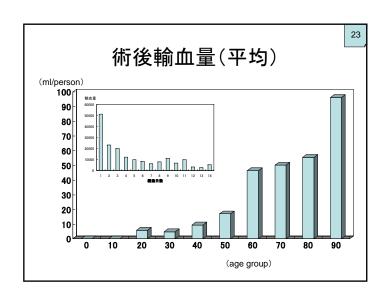


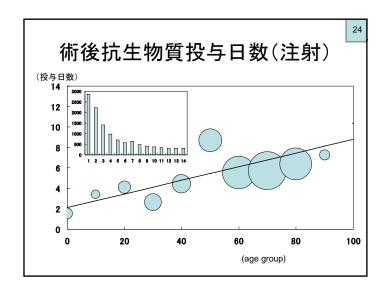
DPC EFファイルによる output推定の例 手術を基点としたmortality, complication, resource usage

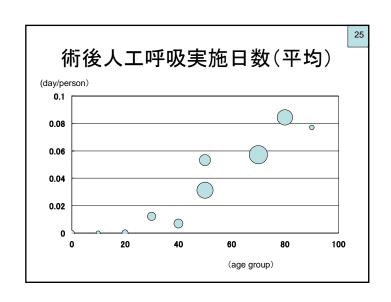


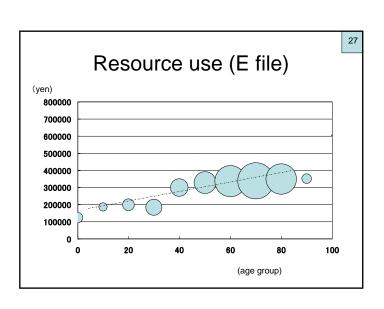


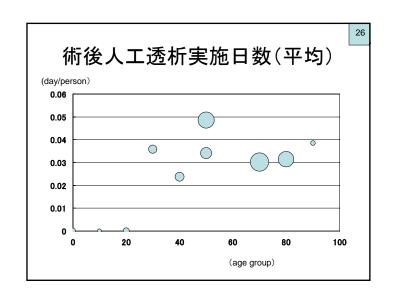


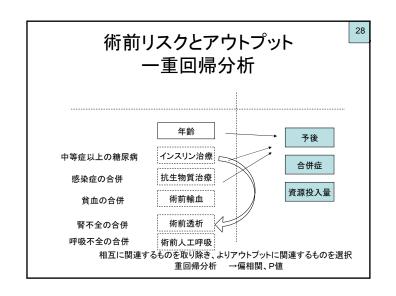






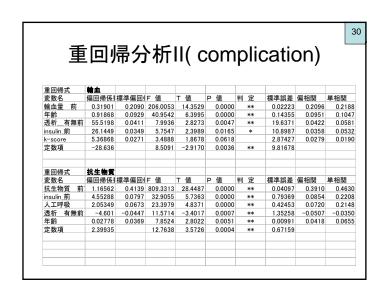


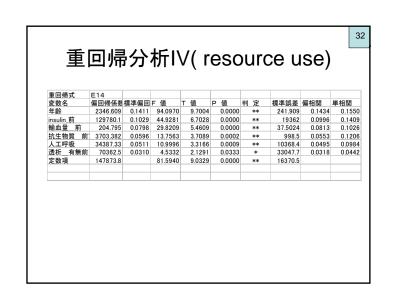


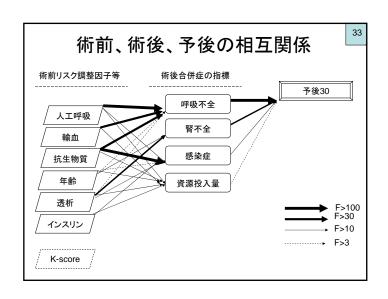


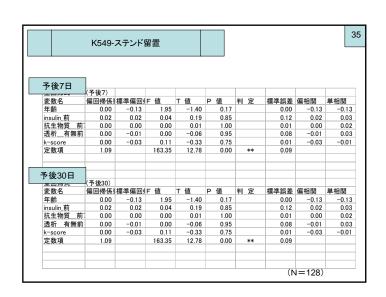


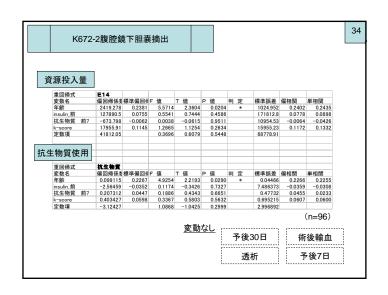
1回帰式	透析										
を数名	偏回帰係数	標準偏回帰日	- 値	T 値	Р	値	判	定	標準誤差	偏相関	単相関
透析 有無前	0.956579	0.7801	6996.8543	83.6472		0.0000		**	0.011436	0.7806	0.7802
手齢	0.000281	0.0313	11.2725	3.3575		0.0008		**	8.38E-05	0.0501	0.0335
自数項	-0.00618		1.1813	-1.0869	H	0.2772	H		0.005684		
手回帰式	人工呼吸				H		F				
变数名		標準偏回帰日	- 値	T 値	Р	値	判	定	標準誤差	偏相関	単相関
し 工呼吸	1.196288	0.4370	1033.5887	32.1495		0.0000		**	0.03721	0.4328	0.4856
俞血量 前	0.001296	0.1243	92.8437	9.6355		0.0000		**	0.000135	0.1424	0.1632
亢生物質 前7	0.029142	0.1154	72.3259	8.5045		0.0000		**	0.003427	0.1260	0.2649
手齢	0.001901	0.0281	4.7902	2.1886		0.0287		*	0.000868	0.0327	0.0621
透析 有無前	-0.24227	-0.0262	4.1778	-2.0440		0.0410		*	0.118529	-0.0305	-0.0080
ŕ	0.001901	0.0281	4.7902	2.1886		0.0287		*	0.000868	0.0327	0.0621

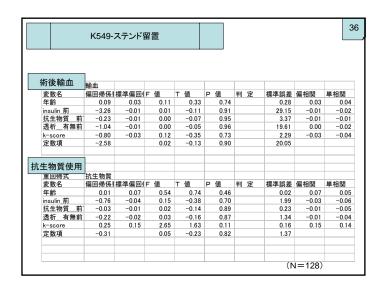


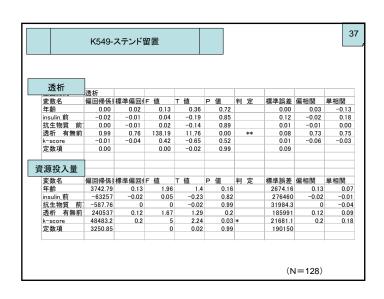


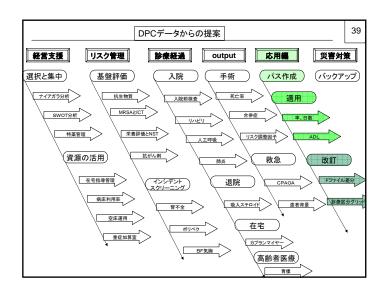


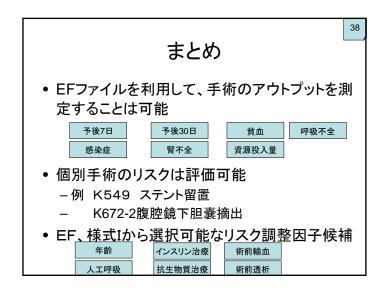


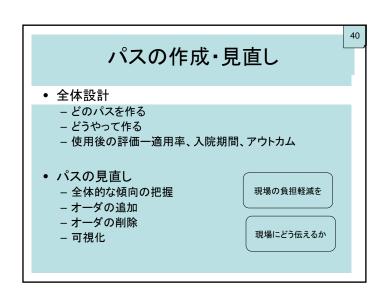


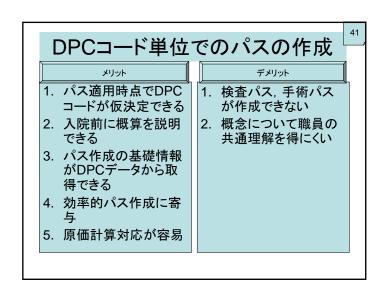


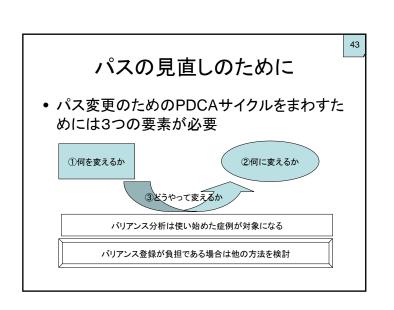


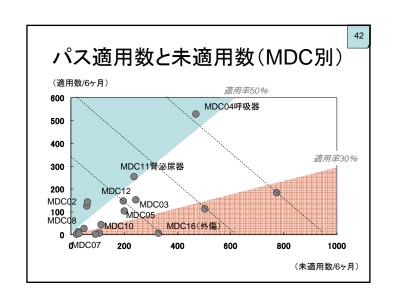


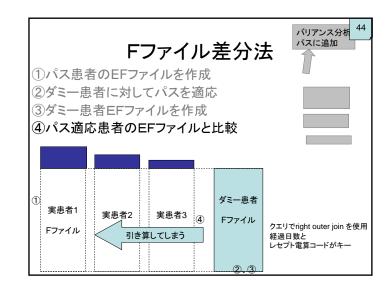


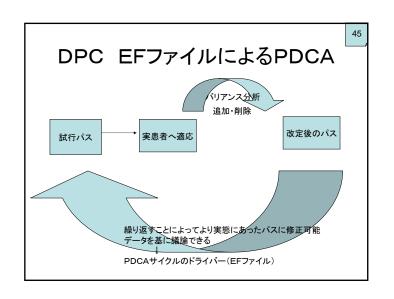


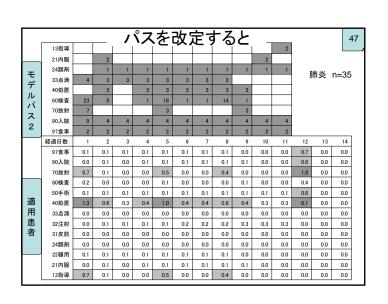


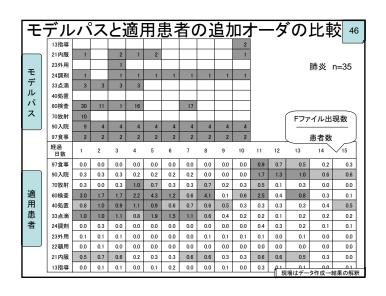


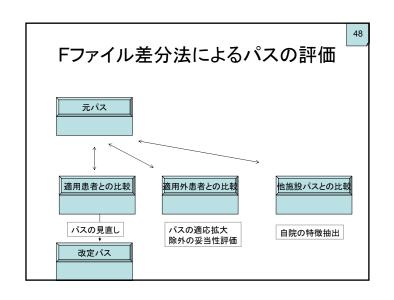






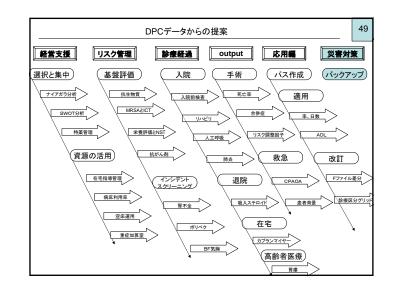


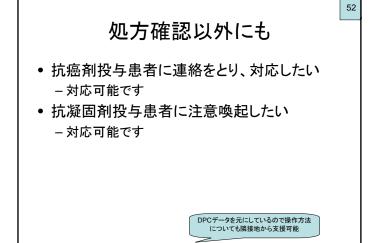


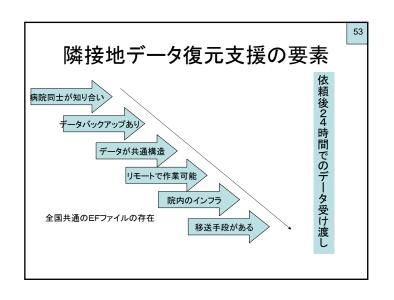


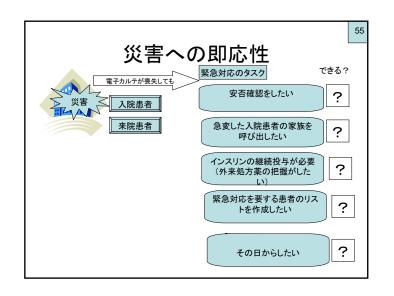


実はDPCデータ(Fフ	アイル)
有利な点	カバーしない範囲
入院、外来の保険診療データが全て 入っている	自費
院外処方も含まれている	
一行為一行と簡潔	インスリンの種類はわか るが一回量はわからない
保存データの検証が既に済み	
データ様式が全国共通なので他院の 職員でも仕様決定が可能	後は、患者基本情報か
抽出クエリが自院データで検証可能	ら氏名等を追加すれば よい









データ保全が不可能になった場合 診療 継続不可能 レセプト請求不可能 過去病歴参照 不可能 患者、地域からの期待に応じることが出来ず、病院機能存続に赤信号 どのような形であれ、電子カルテのデータを復元できるための準備が必要

